

令和3年度 狭山市立富士見小学校 自己評価書

※ 【評価の目安】

- A：現状に満足できる。(達成度90%以上)
- B：現状におおむね満足できる。(達成度80%以上～90%未満)
- C：大きな問題はないが改善の必要がある。(70%以上～80%未満)
- D：現状を改善する必要がある。(70%未満)

※達成状況は1番多かった評価を記載

領域	番号	評価の観点	達成状況	評価の説明及び改善のための方策
1 学校教育 目標	1	「笑顔」と「本気」について実現の努力がなされているか。	B	めざす学校像は、教職員への周知を通して児童に浸透していった。保護者や地域へは、学校便り・懇談会・PTA運営委員会等を通じて今後も発信していく。
	2	「笑顔」と「本気」の場面が児童に見られているか。	B	
	3	「笑顔」と「本気」について保護者への浸透が図られているか。	B	
2 校務 分掌	4	分掌組織が無理なく合理的に編成されているか。	B	年度当初に分掌編成を精選したことで少し負担を軽減できたが、今後分掌ごとの軽重をさらに縮めていく。
	5	自分の分掌が円滑に進められているか。	B	
3 教育 計画	6	現時点で時数不足や履修漏れがなく授業が進められているか。	B	コロナ禍で制限がある中、可能な限り行事計画に工夫を加えて実施してきた。その反省を踏まえ、日課表や教育課程の見直しを図った。次年度はその計画の実践と修正を図っていく。
	7	年間指導計画の内容に即した学習が展開されているか。(単元入替除く)	B	
	8	年間行事計画が無理なく立てられているか。	B	
	9	第1校時の授業時間は確保できているか。	B	
4 学年 学級 経営	10	学年で経営方針の共通理解が図られているか。	B	QUTテスト結果を活用し、一人一人のよさと課題を的確に把握して学級経営の充実を図ってきた。また、学年で共通理解を図り連携して行動できた。
	11	生徒指導上の課題を共有し、学年での対応ができてきているか。	B	
	12	教室環境は整理整頓がなされているか。	B	
5 学習 指導	13	学習規律の定着が図られているか。	B	朝の習熟学習により、基礎基本の習得が図られてきた。授業では学び合いを通して考える力を育ててきた。諸学力調査では平均かそれ以上の結果を示していた。タブレット端末が全児童に配布され、授業の中で大いに活用してきた。今後も基礎・基本の定着と、主体的で対話的な深い学びへの授業改善を図っていく。
	14	基礎・基本の習得を目指した指導がなされているか。	B	
	15	主体的で対話的な深い学び(提言5)の実現に取り組んでいるか。	B	
	16	児童が学びを実感できる授業(提言6)や評価ができてきているか。	B	
	17	ユニバーサルデザインを意識した授業が展開できているか。	B	
	18	ICT(タブレット・PC・大型TV等)を活用した授業に取り組んでいるか。	B	
6 道徳 人権	19	道徳の授業を核とし、道徳的心情を育てる心の教育が行われているか。	B	2学期の授業参観では全学級道徳授業を行うなど、人権教育を重点に置いた実践を進めてきた。交流教育も積極的に実施した。
	20	思いやりのある言葉遣いなど、人権感覚を醸成する指導がなされているか。	B	
	21	配慮を要する児童への理解と交流がなされているか。	B	
7 特別 活動	22	レインボータイムで望ましい異学年交流が実現できているか。	B	上級生が下級生を優しく見守り、手本となっている児童が増えてきた。今後も児童会活動を中心に、リーダーシップを発揮できる上級生を育てていく。
	23	話し合い活動を通して児童の主体性を育てているか。	B	
	24	クラブ活動や委員会活動で児童は意欲的に活動しているか。	B	
8 学校 行事	25	学校行事の実施数や時期は適切であるか。	B	コロナ禍の中、制限ある中でも感染症対策を徹底し、可能な範囲で工夫を凝らして学校行事を実施してきた。
	26	学校行事が学級や児童の成長を促すものとなっているか。	B	
9 生徒 指導 教育 相談	27	生特委員会を通して、共通行動のもと組織的対応が図れているか。	B	生徒指導体制が十分に機能し、健全な学校生活を送るための積極的な指導が行えた。諸問題についてはケース会議等で早期解決が図られ、令和4年2月末時点において、いじめ解消率100%(いじめ発生3件)を達成できた。今後も不登校支援、及びあいさつ指導を継続していく。また、引き続き全教職員の共通行動が図れるよう、指導力の向上と連携強化を図っていく。
	28	報告・連絡・相談を心がけ、早期発見・即日対応に努めているか。	B	
	29	基本的な生活習慣の確立のため、毎月の生活目標に取り組んでいるか。	B	
	30	いじめを許さない積極的な指導がなされているか。	B	
	31	不登校児童への支援や不登校にならない指導がなされているか。	B	
	32	あいさつ(校内・地域)指導がなされているか。	B	
	33	諭す指導(大きな声で怒鳴らない)がなされているか。	B	
	34	保護者にカウンセリング・マインドで傾聴・支援をしているか。	B	
	35	無言清掃や掃除の出来ばえを確認する指導がなされているか。	B	
10 体力 健康 安全 食育	36	体育の授業を始め、体力の向上を図る指導がなされているか。	B	児童の健康状態をこまめに観察し、特に新型コロナウイルス感染症については、医療機関とも連携して迅速に対応できた。マスク着用や黙食など、新しいきまりをほぼ全児童が守っていた。大きな交通事故はなかったが、今後も関係諸機関や見守りボランティアと連携し、登下校時の安全を徹底していく。新体力テストの結果から、やや低迷傾向が続いているので、今後体力向上について対策を図っていく。
	37	休み時間における外遊びの奨励を行っているか。	B	
	38	衛生面(ハンカチ・ティッシュ・手洗い等)の徹底指導を行っているか。	B	
	39	感染予防(マスク着用・黙食・検温等)の指導が確実にされているか。	A	
	40	登下校中の交通安全指導(危険予測等)を日常的に行っているか。	B	
	41	不審者対応(逃げる、早めの帰宅等)の指導を日常的に行っているか。	B	
42	円滑な配膳や食事のマナーなど給食指導が適切になされているか。	B		

11 会議	43	会議の回数や時間は無理のない範囲で実施されているか。	B	職員会議の電子化が図られ円滑に実施できた。自己評価シート面談も適切に滞りなく実施できた。今後も、更なる会議の精選を図っていく。
	44	会議の開始時刻を守れているか。	B	
	45	提案内容は毎回見直して改善し、起案をあげているか。	B	
12 教職員の 服務	46	健康管理に気を付けて職務に専念しているか。	B	
	47	ゆとりを持った出勤をしているか。	B	
	48	出勤時に毎朝出勤簿への捺印と打刻をしているか。	A	
	49	社会人としての適切な服装、言葉遣い、挨拶等はできているか。	B	
	50	旅行命令簿や休暇簿は、その都度適切に記入しているか。	A	
	51	出張や研修の報告(復命)を管理職に行っているか。	A	
	52	事務処理を確実に言い提出期限を守れているか。	B	
	53	退勤時、職員室や教室の机の上は整理しているか。(テストや成績物は無い)	B	
	54	19時前の退勤を心がけ、週休日は出勤していないか。	C	
13 研修	55	体罰・暴言、SNS、個人情報漏洩、交通事故、会計事故等に気を付けているか。	A	
	56	教職員の不祥事を自分事として捉えられているか。	A	
	57	自己評価シートにある自己の研修に目標を持って取り組んでいるか。	B	校内研修(算数)の授業研究を全担任が実施し、また、外部指導者を招聘して授業力の向上を図れた。次年度は、学校指導訪問も加えてレベルアップを図る。
58	研究授業を通して指導法を学び、授業改善につなげているか。	B		
59	校内課題研究では他の教職員と協力して取り組んでいるか。	B		
14 施設 設備	60	安全で過ごしやすい教室環境づくりを実践しているか。	B	日常点検・定期点検を通して、施設設備の瑕疵のないように即時対応を心がけ、施設事故は0であった。特に、校舎内の雨漏りや破損個所の修繕、転落防止柵の設置、高学年に洋式トイレ設置など、安全性と利便性の向上に努めた。
	61	備品の使用後は、保管場所や数量を確認して後片づけをしているか。	B	
	62	時季にあった掲示や児童の作品展示がなされているか。	B	
	63	トイレや流しは清潔に保たれているか。	B	
15 PTA 家庭 地域	64	毎月定例の安全点検を確実に実施し報告しているか。	A	
	65	学年×10分以上の家庭学習の定着を図っているか。	B	コロナ禍の中、PTA活動や家庭・地域連携は計画どおりの実施とはならなかったが、制限がある中でも、学校公開や家庭教育学級などは些か実施できた。次年度の開校50周年記念事業を通して更に連携を図っていく。
	66	学校の教育活動の情報発信(便りや懇談会等)ができているか。	B	
	67	保護者との連携(連絡帳・電話・面談等)を密に行っているか。	B	
68	地域資源(ヒト・モノ・コト)を活用し、多様な学びの実現に取り組んでいるか。	B		
16 図書	69	朝読書は集中して読めているか。	B	図書室の電子化整備が進んだ。次年度は月に1度、教職員が朝読書指導を行えるようにする。
	70	図書室利用や本の貸し出しを積極的に行っているか。	B	